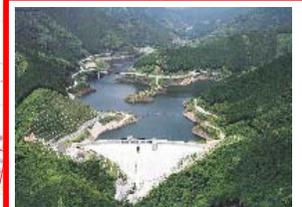


# 太田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ふるさとの心を伝える太田川水系の流域治水対策～

静岡県



治水協定に基づくダム  
の洪水調節機能の強化  
(事前放流等)(県)

砂防施設等の整備(県)

農業水利施設の整備(県)

河川改修(森町)

河川改修(県)

河川改修(県)

河川改修(県)

堤防天端舗装(県)

掛川市

河川改修(袋井市)

河道掘削・伐木(県)

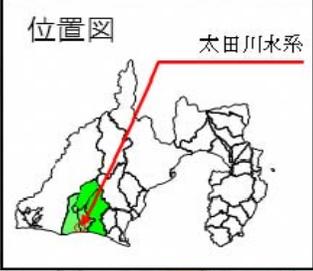
河川改修(県)

校庭貯留(今井小、袋井中)  
(袋井市)

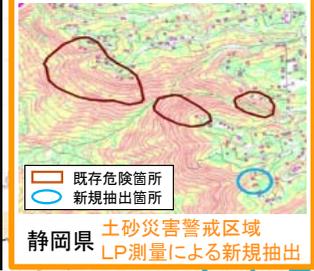
柳原雨水ポンプ場整備(袋井市)

大島排水ポンプ場整備(磐田市)

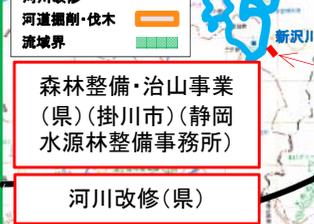
農業用ため池の耐震・豪雨対策(袋井市・掛川市・森町)



静岡県 出前講座

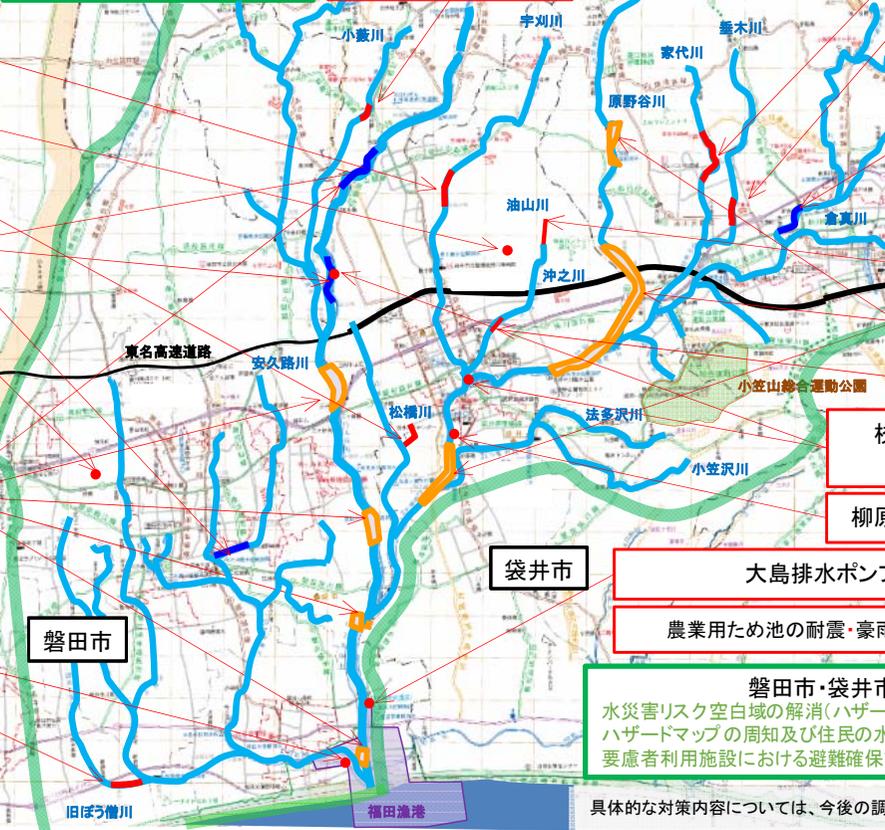


静岡県 土砂災害警戒区域  
LP測量による新規抽出



森林整備・治山事業  
(県)(掛川市)(静岡  
水源林整備事務所)

河川改修(県)



立地適正化計画における防  
災指針の記載(掛川市)

河川改修(県)

遊水地整備(久野城址南)  
(県・袋井市)

河川改修(袋井市)

堤防天端舗装・伐木(県)

校庭貯留(豊田北部小・豊田中他)  
(磐田市)



河道掘削・伐木(県)

ぼう僧川水門の機能維持(県)

河川改修(県)

水田貯留(袋井市・県)

校庭貯留の機能維持(県)

磐田市・袋井市・掛川市・森町  
水災害リスク空白域の解消(ハザードマップの作成)  
ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組  
要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により 甚大な被害が発生したことを踏まえ、太田川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。

○太田川流域は、市街化の進展や地形的特性などにより浸水被害の危険性が高いことから、河川改修や内水氾濫対策等を進めるとともに、太田川ダムによる事前放流や雨水貯留施設の整備、更にはハザードマップの周知など、あらゆる関係者の協働による総合的な浸水対策を推進する。

○これらの取組により、県管理区間においては、「太田川水系河川整備計画」に基づき、平成10年9月洪水と同規模(年超過確率1/10規模の降雨)の洪水が発生しても洪水を安全に流下できるよう、治水対策を加速化するとともに、市町と連携した総合的かつ多層的な水災害対策を推進する。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・河川改修(河道掘削、伐木等)、遊水地整備、堤防天端舗装等
  - ・治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化(事前放流等)
  - ・内水氾濫対策の強化(雨水ポンプ場の整備等)
  - ・雨水貯留施設の整備(校庭貯留・水田貯留)
  - ・砂防施設等の整備
  - ・森林整備・治山事業による流出抑制対策
  - ・農業水利施設の整備(排水機場・調整池整備等)
  - ・農業用ため池の耐震・豪雨対策 等

- 被害対象を減少させるための対策
  - ・水災害リスク空白域の解消(土砂災害警戒区域 LP測量による新規抽出)
  - ・立地適正化計画における防災指針の記載

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
  - ・水災害リスク空白域の解消(洪水浸水想定区域図の公表・ハザードマップの作成・土砂災害警戒区域標識等の設置)
  - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座、マイ・タイムライン研修・避難訓練等)
  - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
  - ・宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
  - ・サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供
  - ・危機管理型水位計の設置
  - ・土のうステーション運営
  - ・水防団の強化(水防倉庫の改修等) 等

# 太田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

静岡県

～ふるさとの心を伝える太田川水系の流域治水対策～

● 太田川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】太田川をはじめとする県管理区間を対象に、河道掘削等の河川改修をより一層加速化し、流下能力の早期向上を図っていく。

また、危機管理型ハード対策として、築堤部を対象に、決壊までの時間を引き延ばすため、堤防天端舗装を実施していく。

【中期】短期中に見直しする「太田川水系河川整備計画」に基づいた河川改修を行うとともに、市町の内水氾濫対策と連携した流域全体の治水安全度の向上を図っていく。

【中長期】市町と連携したソフト対策による短期からの継続的な理解促進の取り組みにより、流域住民全体の防災意識の向上を図っていく。

## ■ 事業規模

### 河川対策

全体事業費 約134億円※

対策内容 河道掘削等

※ 太田川水系河川整備計画の  
残事業費を記載



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修(河道掘削・伐木等)、遊水地整備、堤防天端舗装等	静岡県・袋井市・森町	■	■	■
	治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化(事前放流等)	静岡県	■	■	■
	内水氾濫対策の強化(雨水ポンプ場の整備等)	袋井市・磐田市	■	■	■
	雨水貯留施設の整備(校庭貯留・水田貯留)	袋井市・磐田市	■	■	■
	砂防施設等の整備	静岡県	■	■	■
	森林整備・治山事業による流出抑制対策	静岡県・掛川市 静岡水源林整備事務所	■	■	■
	農業水利施設の整備(排水機場、調整池整備等)	静岡県	■	■	■
	農業用ため池の耐震・豪雨対策	袋井市・掛川市 森町	■	■	■
被害対象を減少させるための対策	水災害リスク空白域の解消(土砂災害警戒区域 LP測量による新規抽出)	静岡県	■		
	立地適正化計画における防災指針の記載	掛川市	■	■	■
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク空白域の解消(洪水浸水想定区域図の公表・ハザードマップの作成・土砂災害警戒区域 標識等の設置)	静岡県・全市町	■	■	■
	ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座、マイ・タイムライン研修・避難訓練等)	静岡県・全市町	■	■	■
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	全市町	■	■	■
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県・全市町	■	■	■
	サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供	静岡県・袋井市・磐田市・掛川市	■	■	■
	危機管理型水位計の設置	静岡県	■		
	土のうステーション運営	袋井市・磐田市・掛川市	■	■	■
	水防団の強化(水防倉庫の改修等)	袋井市	■	■	■

※【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。